

地域に愛されて、50周年！



青南だより

平成29年12月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜歴史を語るかえでの木＞

歴史という言葉子どもたちは理解できないかもしれませんが、10年ごとにまとめた古い写真を見た子どもたちは、少しずつ青南幼稚園の歩んできた様子に思いを馳せてきました。式典の数日前に見せた昭和52年の集合写真には、細いかえでの木が写っており、今のかえでの木と見比べて、歴史というものを実感できたようです。そして喜びの歌と言葉の最後に歌った「かえでの木の歌」はまさに、青南幼稚園のこの日のためにあるような歌でした。

＜式典での緊張とやり遂げたからこそその成長＞

周年に向けての掃除は子どもたちも一生懸命頑張りました。幼稚園をきれいにすることで、これまで幼稚園を支えてきてくれて、お祝いに来てくださる方々への感謝の気持ちを表しました。式典の練習では、「こんなふうに行けるとかっこいいよ」という励ましの言葉を受けて、すてきな姿を見てもらおうと頑張りました。当日、出番が終わり廊下に出た4歳児はほっとした笑顔やふーっという大きなため息をついたものの、「よく頑張ったね、でも部屋に帰るまで頑張ってる」のひと言に、ずっと背筋を伸ばして歩き始めたそうです。

＜みんなの心に深く刻まれた50周年式典＞

5歳児はまだお客様が入る前から式場に入っていましたから、およそ1時間遊戯室にいたこととなります。大勢の来賓の挨拶をよく聞き、ざわついて自分たちで静かになることができたことは大きな成長でした。子どもらしく元気な言葉や歌声そして態度を見て、多くの方々が「日頃の積み重ねの成果ですね」と褒めてくださいました。みんなの部屋で紙芝居を上手に見ることができた3歳児も含め、子どもたちの大きな育ちを感じることができた周年行事となりました。多くの皆様に改めて深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

青南の 二十四節気

・・・師走(しわす)・・・

大雪(7日)・・・黄色いイチョウの葉が舞い始めます・・・

冬至(22日)・・・空気が澄んで遠景がよく見えます・・・

記念式典でも昭和52年の入園式の写真を紹介しました。まだ細いかえでの木の前で撮った集合写真です。その木が今や大樹となって私たちを見守ってくれています。子どもたちが歌った「かえでの木の歌」には、涙を流して聞き入っているお客様もいらっしゃいました。

裏庭の柿の木は今年もたくさんのおいしい実を付けてくれて、控室のおしゃれな飾りとしても活躍しました。園庭の木々は開園当初からすであったものだそうですから、改めて歴史の重みを感じます。



誕生会で紹介した古い写真はその後廊下に掲示



昭和52年度の入園式の集合写真



周年記念製作の看板とかえで組の子どもたち
(上の写真のかえでの木との差にも注目！)



ミニ集会で周年スペシャル紙芝居を見る3歳児



130人の前で喜びの歌と言葉を披露する4.5歳児